

山形県小国町

ペレットマン ～木質ペレットでエネルギーの地産地消を目指す 最強のローカル～



## プログラムの内容

新潟県との県境に位置する山形県小国町は、東京23区よりやや広い面積で、その約94%を森林が占める地域。全国でも有数の豪雪地帯でもあり、灯油の消費量は一世帯当たり年1,000リットル程。化石燃料に頼り、消費し続ける社会のままで良いのか？との疑問からペレットマンの歩みがスタートしました。

目指すは、森林資源が豊富な小国町の特性を活かした「ペレットストーブ」や「薪ストーブ」の販売を通じたエネルギーの地産地消と地域経済循環。

本プログラムでは、暮らしの道具としてのペレットストーブを通して、今後のエネルギーのあり方について考えると共に、焚き火×焼きマシュマロ体験では、人間の営みの原点ともいえる「炎（火）のある暮らし」の気持ち良さを体感いただきます。



## 見どころ！ここがポイント！

●仙台から地元小国町に戻り、店長としてガソリンスタンド勤務時に感じた違和感。このまま化石燃料を遠い海外から輸入し、消費し続ける社会で良いのか？

たどり着いた答えは、慣れ親しんだ地元の風景の中に。エネルギーの地産地消に向けた取り組み、炎（火）のある暮らしの気持ち良さを是非現地で体感下さい。

①日本のエネルギー自給率ってどれくらい？化石燃料に依存しない、地域特性に合わせたエネルギーの地産地消について考える！

②まるで板チョコ!? 福祉作業所製造の地元間伐材と廃棄ローソクで作った着火材！

③焚き火×焼きマシュマロ体験、火を囲んで仲間と語り合おう！

## SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

●ゴール7(ターゲット7.2) ペレットストーブの普及により再生可能エネルギーの割合を拡大させる

●ゴール8(ターゲット8.5) 若者や障害者を含む全ての人の働きがいのある人間らしい仕事



森林資源が豊富な小国町の風景



間伐材や製材クズを円筒形に圧縮した木質ペレット



木質ペレットを燃やして暖をとるペレットストーブ



焚き火×焼きマシュマロ体験

### 事前学習

- 再生可能エネルギーの種類、特徴について調べてみよう。
- 日本のエネルギー自給率やエネルギーがどこから調達されているのか調べてみよう。

### 現地学習

- ペレットマンについて  
木質ペレット、暮らしの道具としてのペレットストーブ活用によるエネルギーの地産地消に向けた取り組み
- 焚き火×焼きマシュマロ体験  
地元の山で採ったクロモジの枝にマシュマロをさして焼きます。  
炎（火）のある気持ち良さ、火を囲んで仲間と語り合おう！

### 事後学習

- 自分の住む地域に最適な地産地消エネルギーについて、話し合いまとめてみよう。

受入人数

5～20名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期  
(休業日)

4月～10月

1人/1回  
当たり料金

1,600円

受入可能時間

9:00～17:00

体験時間

90分～120分

備考  
(雨天対応等)

雨天時でも「焚き火×焼きマシュマロ体験」は、屋内（ペレットマンファクトリー）で体験可能です。

### 問い合わせ

やまがたアルカディア観光局

TEL: 0238-88-1831 FAX: 0238-88-1812

Mail: info@arcadia-kanko.jp

営業時間: 平日 9:00～17:00

年末年始休業